

応募要項

- 【期間】 2016年5月～2017年2月（10ヵ月間）／全16回講義／月2回・土曜日開催
 【時間】 13：30～16：30（講義2時間+ディスカッション1時間）
 【場所】 憲政記念館（東京都千代田区永田町1丁目1番地1号）
 【定員】 約30名
 【費用】 ◆一般 80,000円（分納可：40,000×2回）
 ◆財団会員 70,000円（分納可：35,000×2回）
 ◆再入塾 40,000円（分納可：20,000×2回）
 ◆オンライン受講 30,000円 ※

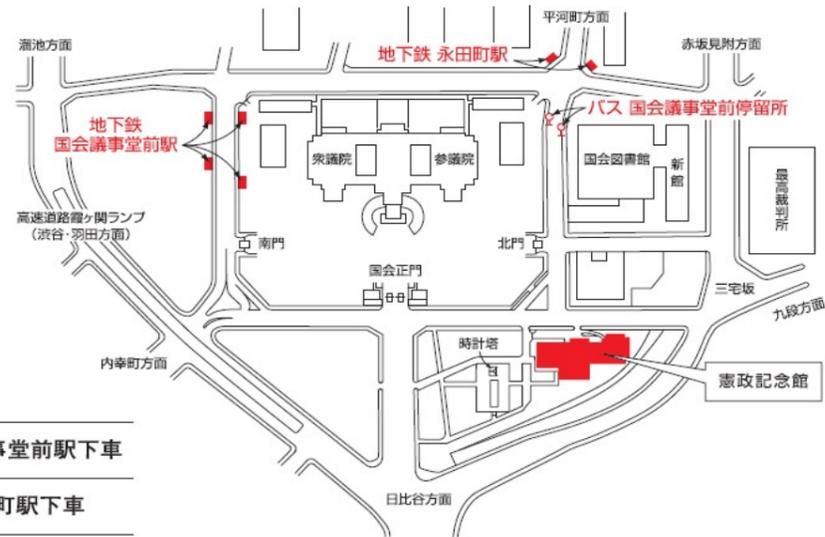
※一度卒塾した人は、何度でも再入塾可能です。費用はずっと40,000円です。
 ※オンライン受講（自宅等インターネット環境で講義視聴／レポート提出あり）は遠近および国内外を問わず、どなたでもお申し込み頂けます。
 ※オンライン受講生以外も、塾生はすべてオンライン視聴可能です。欠席した時や復習の際に便利です。

「申込用紙」に必要事項をご記入のうえ、4月28日（木）までに、尾崎財団までファックス（03-3581-1856）または メール添付（info@ozakiyukio.jp）でお送り下さい。

オンライン受講プログラムは、東日本大震災復興支援事業の一環としても開催されます。被災県（岩手、宮城、福島）在住の方につきましては、協賛企業等の助成により受講費用を全額免除致します（入塾式および卒塾式への参加に伴う交通費は、自己負担となります）。

協賛企業等： ミクニ総業株式会社、大橋物産株式会社、株式会社ニフコ、タカラベルモント株式会社、公益財団法人原田積善会、特定非営利活動法人InterNational Press Syndicate(INPS)

財団（憲政記念館）地図



2016.1.24

Ozaki Yukio 尾崎行雄記念財団

〒100-0014
 東京都千代田区永田町1-1-1 憲政記念館内
 TEL:03-3581-1778（受付時間 10:00～17:00）
 FAX:03-3581-1856
 E-mail:info@ozakiyukio.jp

交通アクセス

地下鉄	丸の内線・千代田線	国会議事堂前駅下車
	有楽町線・半蔵門線・南北線	永田町駅下車
バス	都営バス	国会議事堂前下車



Ozaki Yukio

一般財団法人 尾崎行雄記念財団
 リーダー育成プログラム



がくどうじゅく

「第18期 号堂塾」 入塾のご案内



「人生の本舞台は常に将来に在り」の言葉で知られる憲政の神、尾崎行雄。みずからの信念に裏打ちされた演説は、時の藩閥政治や軍閥政治を打破し、また現在の18歳選挙権につながる普通選挙運動の先駆けとなりました。その鋭い舌鋒は獅子吼（ししく）と呼ばれ、多くの有権者を魅了すると同時に叱咤激励し続けてきました。尾崎にとって支柱となったものは何か。生涯学び続けて練り上げた圧倒的な「言葉の力」、そして常に振れることのない「心の力」が尾崎にはありました。号堂塾は尾崎の雅号・号堂（がくどう）を冠した、超党派の多彩な講師陣によるリーダー育成プログラムです。

約10ヵ月間のカリキュラムでは、はじめに「皆さんが、何を成し遂げたいのか」個別にテーマを設定していただきます。そしてその想いを、いかに具現化するか。想いを言葉にし、行動に結びつけていくための方法論や実践アプローチを共に学んで参ります。講義は毎回、憲政記念館（永田町1丁目1番地1号）にて行います。国会議事堂と国会図書館に面した「日本の政治の中心地」で共に学ぶことのできる機会へのご参加を、スタッフ一同、心よりお待ちしております。

あなたの夢は、何ですか。

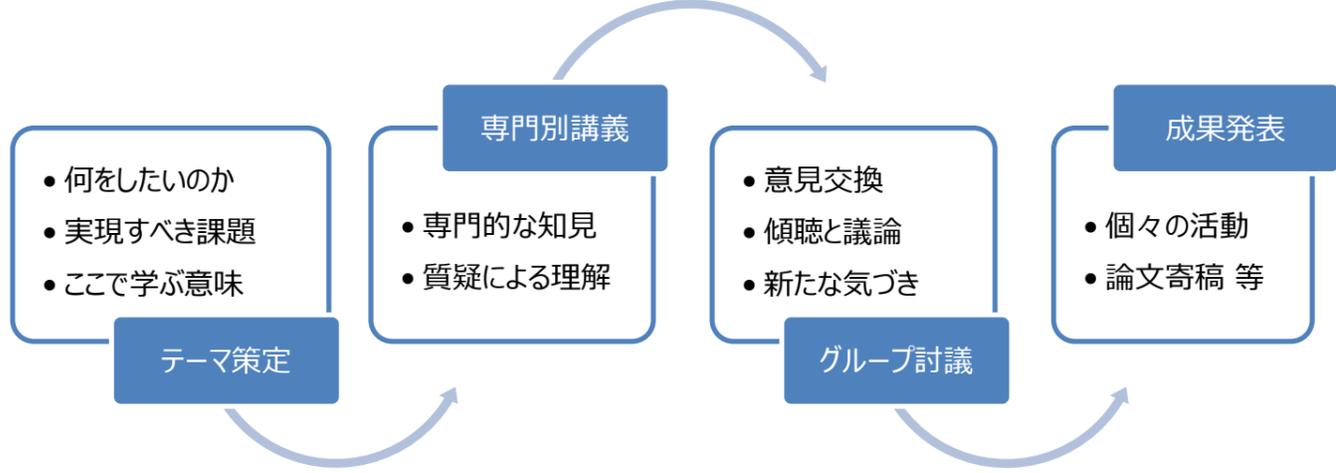
尾崎行雄の三女、相馬雪香。日本を代表するNGO「難民を助ける会」の創設者として知られる相馬が1998年に創立し、晩年まで情熱を注ぎ続けたのが号堂塾です。開塾以来、520名以上の地域リーダーや政治家を世に送り出してきました。政治家・尾崎と平和活動家・相馬、立場の違う二人に共通するのは「夢に向かって突き進む」ことでした。入塾からの10カ月間で皆さんが手にするのは、決して「卒塾」という肩書やステータスだけではありません。時代を切り拓く「本物の言葉」、そして皆さん一人ひとりの夢を実現するための「行動力」です。



(憲政の神・尾崎行雄。そして尾崎三女・相馬雪香。その遺伝子を受け継ぐのは皆さん一人ひとり)

全16回・48時間。学びの暁には、必ず「何かが生まれる」。

号堂塾での学びは全16回。毎月2回、各界の専門分野で活躍する講師の授業（2時間）と、塾生同士のディスカッション(1時間)を繰り返して進められます。号堂・尾崎行雄が生涯でもっとも大事にした批判的精神「誰が正しいかではなく、何が正しいか」を感じながら、個々に策定したテーマに向かって頂きます。



演説の聖地・憲政記念館での「卒塾演説会」

尾崎行雄の業績を記念して1960年（昭和35年）に建設された尾崎記念会館（現在の憲政記念館）。号堂塾の卒塾式では、日本の政治の中心地・憲政記念館で大いに熱弁をふるって頂きます。入塾時に定めたテーマを、毎回の講義とディスカッションを通じて練り上げ、削ぎ澄まし、存分に語ってください。本気の思いを、それぞれの本舞台上で語る。国会議事堂に面した日本の政治の中心地・憲政記念館での演説会は、尾崎行雄と塾生の皆さんが一体化する、号堂塾ならではのプログラムです。



(第16期号堂塾・卒塾演説会より)

学びを支える、主な講師陣（順不同、2016年1月現在）

各界の第一線で活躍する講師陣を招いての講義は、講師と塾生の「真剣勝負」です。国政や地方自治のあり方、また議会での争点となる様々な社会問題などを広範囲に学んで頂きます。また、17期からは政治家や地域リーダー、どちらの立場でも必要不可欠な「本物の発信力」を磨くためのプログラムも強化。各分野における発信・表現のプロフェッショナルが皆様の学びを支えます。



- | | | |
|----------------------|--------|------------------------|
| 「尾崎行雄と相馬雪香-その信念と生き方」 | 石田 尊昭 | (尾崎行雄記念財団理事・事務局長) |
| 「日本のメディア問題」 | 神保 哲生 | (ビデオジャーナリスト/早大院客員教授) |
| 「政治と人間学～論語に学ぶ～」 | 長峯 基 | (元参議院議員/長峯学園さくら幼稚園理事長) |
| 「地方政治と日本の未来」 | 北川 正恭 | (元三重県知事/早稲田大学名誉教授) |
| 「環境問題と日本のエネルギー政策」 | 飯田 哲也 | (環境エネルギー政策研究所所長) |
| 「日本語は国の防波堤」 | 井沢 満 | (脚本家) |
| 「明治天皇の詔勅から地方自治を考える」 | 荒谷 卓 | (明治神宮武道場至誠館館長) |
| 「信頼を勝ち取る演説の技術」 | 矢野 香 | (正統派スピーチコンサルタント) |
| 「激動する世界情勢と日本の役割」 | 伊勢崎 賢治 | (東京外大教授/日本紛争予防センター理事) |
| 「少子高齢社会の現状と展望」 | 樋口 恵子 | (NPO高齢社会をよくする女性の会代表) |
| 「日本の政治・社会の課題」 | 宮台 真司 | (首都大学東京教授/社会学者) |
| 「日本政治の課題と展望」 | 猪口 邦子 | (参議院議員/元・国連軍縮会議日本大使) |
| 「世界と日本経済の行方」 | 池田 信夫 | (アゴラ研究所所長/エコノミスト) 他 |

※上記のテーマ・講師陣は要請予定を含んでおり、変更する場合があります。あらかじめご了承ください。